

# 常設展示室のリニューアル

## 概要

常設展示室の内容と魅力を向上させるため、寄附金等により造成した基金を活用し、常設展示室に新しい展示を製作・設置する。

## 事業内容

### ▼ ふしぎな輪

#### 【展示の概要】

機器の故障で停止していた「スケスケマシン」の筐体を利用して設置。科学館職員のアイデアと手作りによる展示物で、3つの錯視を体験できる。「ピンナ錯視」を応用しており、円盤の回転方向や速度を変えることができる。

【設置日】 令和3年3月26日



### ▼ ふらふらUFO

#### 【展示の概要】

機器の故障で停止していた「表情のふしぎ」の筐体を利用して設置。科学館職員のアイデアと手作りによる展示物。単純な振り子運動に反発する磁石の働きが加わることで、吊されたUFO模型が不規則に動く様子を楽しむことができる。

【設置日】 令和3年6月20日



### ▼ いまの地球とみらいの地球

#### 【展示の概要】

「インタラクティブ地球儀“スフィア”」を、常設展示向けに調整して設置する。

膨大なデータに基づく大気・海洋・大地などの様々なコンテンツを体験者が選んでデジタル地球儀に重ねて見ることができ、地球儀は手で触れずに回すことができる。(赤外線センサーと音声認識による)

地球上で起きている様々な事象を知り、日本と世界のつながりを通して地球目線での視野を育むこと、傷ついた地球や人類が抱える諸問題について知り、科学的根拠に基づいたSDGsが必要とされている背景について理解を促すことを目的としている。

【設置日】 令和3年7月下旬(予定)

【予算】 3,000千円



3月                      4月                      5月                      6月                      7月                      8月                      9月                      10月                      11月                      12月

## 錯覚いろいろコーナー

研究者等への  
作品提供依頼

部屋の改修作品の印刷

付随装置の作成

作品の設置

オープン

### 錯覚いろいろコーナーの概要

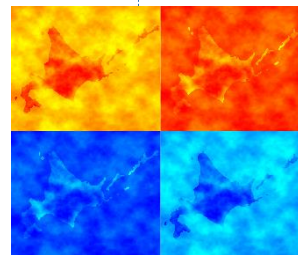
【方針】 錯覚をテーマに約30点展示する。

【方法】 旧北国の動物コーナーの設備を撤去/照明を追加

- ・壁四面に錯視をテーマにした展示
- ・中央にテーブルを配置→立体物、錯触/錯聴を展示
- ・ひと手間加えると錯覚が現れるものを優先(トリックアートの展示会などとの差別化)

【設置日】 令和3年12月オープン(予定)

【予算】 3,000千円 (内訳) 撤去改修費1,500千円 展示1,500千円



展示作品例「北海道」(今回のために作成)



壁面の展示イメージ